



Operations Manager i

ソフトウェアバージョン:10.61

リリースノート

ドキュメントリリース日: 2017年4月
ソフトウェアリリース日: 2017年4月


Hewlett Packard
Enterprise

利用条件

保証

Hewlett Packard Enterpriseの製品およびサービスの保証は、かかる製品およびサービスに付属する明示的な保証の声明において定められている保証に限り、本ドキュメントの内容は、追加の保証を構成するものではありません。Hewlett Packard Enterpriseは、本ドキュメントに技術的な間違いまたは編集上の間違い、あるいは欠落があった場合でも責任を負わないものとします。

本ドキュメントに含まれる情報は、事前の予告なく変更されることがあります。

制限事項

本コンピューターソフトウェアは、機密性があります。これらを所有、使用、または複製するには、Hewlett Packard Enterpriseからの有効なライセンスが必要です。FAR 12.211 および12.212に従って、商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアのドキュメント、および商用アイテムの技術データは、HPの標準商用ライセンス条件に基づいて米国政府にライセンスされています。

著作権情報

© 2016~ 2017年 Hewlett Packard Enterprise Development LP

商標

Adobe® およびAcrobat® は、Adobe Systems Incorporatedの商標です。

AMD、AMDの矢印記号、およびATIは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

Citrix® およびXenDesktop® はCitrix Systems, Inc. および/またはその子会社の登録商標で、米国特許商標庁およびその他の国で登録されている可能性があります。

Google™ およびGoogle Maps™ は、Google Inc. の商標です。

Intel®、Itanium®、Pentium®、およびIntel® Xeon® は、Intel Corporationの米国およびその他の国における商標です。

iPad® およびiPhone® は、Apple Inc. の商標です。

Javaは、Oracleおよびその関連企業の登録商標です。

Linux® はLinus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Lync®、Windows NT®、Windows XP、Windows Vista®、およびWindows Server® は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国の登録商標または商標です。

NVIDIA® は、NVIDIA Corporationの米国およびその他の国における商標および登録商標です。

Oracleは、Oracle Corporationおよびその関連企業の登録商標です。

Red Hat® はRed Hat, Inc. の米国およびその他の国の登録商標です。

SAP® は、SAP SEのドイツおよびその他の国における商標または登録商標です。

UNIX® はThe Open Groupの登録商標です。

文書の更新

最新のアップデートまたはドキュメントの最新版を使用するには、次のURLにアクセスしてください。<https://softwaresupport.hpe.com/>

このサイトを利用するには、HPE Passportへの登録とサインインが必要です。HPE Passport IDを登録するには、HPEソフトウェアサポートサイトで **[登録]** をクリックするか、HPE Passportのログインページで **[アカウントを作成]** をクリックします。

該当する製品 サポート サービスに登録した場合、更新版または最新版を受信することもできます。詳細については、HPEの営業担当にお問い合わせください。

サポート

次のHPEソフトウェアサポートサイトを参照してください。<https://softwaresupport.hpe.com/>

ほとんどのサポートエリアでは、HPE Passportユーザーとして登録し、ログインする必要があります。また、多くの場合、サポート契約も必要です。HPE Passport IDを登録するには、HPEサポートサイトで **[登録]** をクリックするか、HPE Passportのログインページで **[アカウントを作成]** をクリックします。

アクセスレベルの詳細に関しては次を参照してください。<https://softwaresupport.hpe.com/web/softwaresupport/access-levels>

HPE Software Solutions Nowは、ソリューションおよび統合ポータルWebサイトにアクセスします。このサイトでは、ビジネスニーズを満たすHPE製品ソリューションを調べることができます。このサイトには、HPE製品間のすべての統合に関するリスト、ITILプロセスのリストが含まれています。このWebサイトのURLは <https://softwaresupport.hpe.com/km/KM01702731>です。

コンテンツ

Operations Manager i リリースノート	4
OMi 10.61のインストール	5
OMi 10.61の新機能	6
OMi	6
Operations Bridge Suite	7
OMiパフォーマンスダッシュボード 10.61で変更された機能	8
注意事項および制限事項	9
アップグレード/更新	9
OMi	12
OMiパフォーマンスダッシュボード	13
OMiパフォーマンスエンジン	14
ローカリゼーション	16
ドキュメントのフィードバックの送信	17

Operations Manager i リリースノート

ソフトウェアバージョン:10.61

発行日:2017年4月

本書は、Operations Manager i (OMi) 10.61 に加えられた変更点の概要です。

本書では、次の内容について説明します。

- 「OMI 10.61のインストール」(5ページ)
- 「OMi 10.61の新機能」(6ページ)
- 「注意事項および制限事項」(9ページ)

重要: BVDは、Operations Bridge Suite 2017.04リリースのコンテナとしてインストールできます。詳細については、「Operations Bridge Suite」(7ページ)を参照してください。

サポートマトリックス

サポート対象環境やほかの製品との互換性については、Operations Manager i サポートマトリックスを参照してください。サポートマトリックスはリリースの公開前後に更新される場合があります、次のHPEサポートWebサイトでのみ入手できます。

<https://softwaresupport.hpe.com/km/KM323488>

OMI 10.61のインストール

Operations Manager i 10.61のインストールファイルが、.zipファイルとして提供されています。パッケージは、ソフトウェアサポートオンラインポータルから入手できます。

1. SSOからビットをダウンロードします。

[OMi 10.61 for Windows](#)

[OMi 10.61 for Linux](#)

2. .zipファイルを解凍します。
3. [Documentation] フォルダを開きます。
4. OMi_10.61_Installation_and_Upgrade_Guide.htmをダブルクリックして、『OMi10.61インストールとアップグレードガイド』をWebブラウザで開きます。ガイドの手順に従います。

または、ソフトウェアサポートオンラインからOMi 10.61の『OMi 10.61インストールとアップグレードガイド』をダウンロードします。

新規でシステムにOMi 10.61をインストールすることも、OMi 10.60からOMi 10.61に更新することも、OMi 10.01または10.1xからアップグレードすることもできます。インプレースとサイドバイサイド移行の両方がサポートされています。

インストール、アップグレード、および更新と、OMiのハードウェア要件およびソフトウェア要件の詳細については、『[OMiインストールとアップグレードガイド](#)』を参照してください。

OMiパフォーマンスエンジンの更新: OMiパフォーマンスエンジン 10.61のインストールファイルが、.zipファイルとして提供されています。パッケージは、ソフトウェアサポートオンライン (SSO) ポータルから入手できます。

1. SSOからビットをダウンロードします。 [PE 10.61](#)
2. .zipファイルを解凍します。
3. [Documentation] フォルダを開きます。
4. PE_10.61_Installation_and_Configuration_Guide.htmをダブルクリックして、『OMiパフォーマンスエンジン10.61 Installation and Configuration Guide』をWebブラウザで開きます。ガイドの手順に従います。

または、SSOから『OMi Performance Engine 10.61 Installation and Configuration Guide』をダウンロードします。

OMi 10.61の新機能

OMi

Operations Manager i (OMi) は簡略化された統合 ITオペレーション管理ソフトウェアです。OMiは自動化された監視、迅速な根本原因特定と優先順位付け、および自動化された修正アクションを提供します。

HTMLイベントブラウザーでの複数のイベントアクション。 HTMLイベントブラウザーで複数のイベントを同時に選択して変更できるようになりました。各イベントの横のチェックボックスを選択することも、標準のキーボードショートカットを使用して複数のイベントを選択することもできます。選択すると、一括オペレーションを実行し、イベントのライフサイクル状態、重大度、優先度、または割り当てを変更できます。また、右クリックするとコンテキストパネルが開き、すべてのイベントに対して注釈やカスタム属性を作成したり、優先度を再計算したり、イベントを転送したりすることができます。

HTMLイベント詳細およびコンテキストパネル機能。 HTMLイベントブラウザーでは、一括オペレーションを実行できるだけでなく、次のような改善点による更新も加えられています。

- HTMLイベントブラウザーのカラムの幅を拡大し、アイコンのラベルを表示することができます。
- イベント詳細 (HTML) で注釈とカスタム属性の表示、作成、更新、および削除を行うことができます。
- イベント詳細 (HTML) で **[詳細の表示]** をクリックすると、イベントに関する詳細を表示できます。これには、イベントIDおよびタイプ、重複イベントの数、起点サーバーと送信サーバーに関するソース情報、および解決ヒントが含まれます。
- イベントコンテキストパネルでは、構成済みの外部マネージャーアプリケーションにイベントを転送できます。
- イベント詳細 (HTML) でイベントの関連CI、ノードCI、ソースCIをクリックすると、関連付けられているCIに基づいていくつかのアクションを実行できます。開いているイベントの数と最高重大度を表示したり、KPIをリストしたり、CIのCIタイプに関連付けられているHIをリストしたり、レポートを表示したりすることができます。

HTMLイベントブラウザーの詳細については、『OMiオンラインヘルプ』または『OMiユーザーガイド』を参照してください。

重複イベントのカスタム属性の更新。[重複イベント抑制設定]で、重複イベントの値を使用して元のイベントで更新されるカスタム属性のリストを指定できるようになりました。重複イベントで値が設定されない場合、元のイベントのカスタム属性は更新されません。詳細については、『OMi管理ガイド』を参照してください。

関連CIまたはノードからのCIショートカットメニューへのアクセス。OMi 10.61では、イベントの関連CIまたはノードからCIショートカットメニューにアクセスできます。これにより、CI、プロパティなどに関連付けられているKPIに簡単にアクセスできます。

ドキュメントWebポータル。ほかのHPEソフトウェア製品のオンラインヘルプだけでなく、OMiオンラインヘルプも、新しいソフトウェアドキュメントポータルで使用できるようになりました。ポータルにアクセスするには、docs.software.hp.comにアクセスします。これまでのように、ソフトウェアサポートオンラインではすべてのドキュメントを入手できます。

Operations Bridge Suite

Operations Bridge SuiteがDockerコンテナとして使用できるようになり、Business Value DashboardはOperations Bridge Suiteのコンテナとしてのみ使用可能になりました。新しいSuiteインストーラーを使用すると、Operations Bridge Suiteをインストールして構成することができます。

機能、コンテナ化、およびコンテナ化されたOperations Bridge Suiteバージョンのインストール方法の詳細については、『Operations Bridge Suite 2017.04 Release Notes』、『Operations Bridge Suite 2017.04 Installation Guide』、および『Operations Bridge Suite 2017.04 Online Help』を参照してください。

OMiパフォーマンスダッシュボード 10.61で 変更された機能

拡張検索メニュー。パフォーマンスダッシュボードが「お気に入り」、「標準」および「カスタム」の各ダッシュボードにグループ化され、ダッシュボードをより簡単に検索できるようになりました。詳細については、『OMiユーザーガイド』を参照してください。

複数のOperations Connectorのサポート。パフォーマンスダッシュボードで複数のOperations Connectorシステムのグラフ作成メトリックがサポートされるようになりました。

注意事項および制限事項

問題および制限事項は、変更要求番号 (QCCR) で示されます。既知の問題の詳細については、<http://softwaresupport.hpe.com>にアクセスするか、HPEサポート担当者へ直接お問い合わせください。

アップグレード/更新

以下のバージョンからOMi 10.61へのアップグレードおよび更新は正常に動作します。このため、通常どおりインストールとアップグレードガイドの手順に従うことができます。

- OMi 10.60 (IPのインストールなし) および10.60 IP1
- OMi 10.12 (IPのインストールなし) および10.12 IP1
- OMi 10.11 (IPのインストールなし)
- OMi 10.10 (IPのインストールなし) および10.10 IP1

他のバージョンからのアップグレードおよび更新の場合は、以下のセクションで説明する回避策に従ってください。

タイトル:OMi 10.60 IP2からOMi 10.61へアップグレードします

回避策:OMi 10.60 IP2からOMi 10.61にアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. アップグレードを開始する前に、10.60 IP2の後にJARホットフィックスをインストールします。このホットフィックスは、CR QCCR8D54019で提供されています。
2. OMi 10.61インストールファイルをダウンロードします。
3. CR QCCR8D54339で提供されているホットフィックスを使用して10.61インストールフォルダーに手動でパッチを適用します。
4. 『OMi 10.61インストールとアップグレードガイド』の説明に従ってOMi 10.61アップグレードを開始します。

タイトル:OMi 10.12 IP3からOMi 10.61へアップグレードします

回避策:OMi 10.12 IP3からOMi 10.61にアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. アップグレードを開始する前に、10.12 IP3の後にJARホットフィックスをインストールします。このホットフィックスは、CR QCCR8D54341で提供されています。

2. OMi 10.61インストールファイルをダウンロードします。
3. CR QCCR8D54339で提供されているホットフィックスを使用して10.61インストールフォルダーに手動でパッチを適用します。
4. 『OMi 10.61インストールとアップグレードガイド』の説明に従ってOMi 10.61アップグレードを開始します。

タイトル:OMi 10.12 IP2からOMi 10.61へアップグレードします

回避策:OMi 10.12 IP2からOMi 10.61にアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. OMi 10.61インストールファイルをダウンロードします。
2. CR QCCR8D54339で提供されているホットフィックスを使用して10.61インストールフォルダーに手動でパッチを適用します。
3. 『OMi 10.61インストールとアップグレードガイド』の説明に従ってOMi 10.61アップグレードを開始します。

タイトル:OMi 10.01 (複数のIPがインストール済み) からOMi 10.61へアップグレードします

回避策:OMi 10.01からOMi 10.61にアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. OMi 10.61インストールファイルをダウンロードします。
2. CR QCCR8D54339で提供されているホットフィックスを使用して10.61インストールフォルダーに手動でパッチを適用します。
3. 『OMi 10.61インストールとアップグレードガイド』の説明に従ってOMi 10.61アップグレードを開始します。

タイトル:OMi 10.11 IP1からOMi 10.61へのアップグレードが失敗します (OMi 10.11 IP1の後にOMi 10.12などの以降のバージョンがインストールされている場合も同様)。(QCCR8D52227)

説明: OMiバージョン10.11 IP1のパッチが適用されているOMiシステムは、以降のバージョンのOMiやパッチが10.11 IP1の後にインストールされている場合でも、OMi 10.61へのアップグレードに失敗します。

回避策:OMi 10.11 IP1システムをOMi 10.61にアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. アップグレードスクリプトを実行します。これにより、すべての10.xパッチがアンインストールされます。OMi 10.10の削除は失敗します。
2. <OMi_HOME>/Uninstall/に含まれているすべてのフォルダーを削除します。
3. 次の2行を置き換えることで、インベントリファイルのinstallation/dat/product.xmlを修正します。

```
<current_version>10.11</current_version>
```

```
<previous_version>10.11</previous_version>
```

次の行で置き換えます。

```
<current_version>10.10</current_version>
```

```
<previous_version>10.10</previous_version>
```

4. アップグレードスクリプトを再実行します。

タイトル: IISの使用時にOMi 10.01からOMi 10.61へのアップグレードが失敗します。(QCCR8D54342)

説明: OMi 10.01からOMi 10.61へのアップグレードを実行するとき、IISの依存関係によりC:/HPBSMフォルダーが完全に削除されないため、アップグレードが失敗します。

回避策: アップグレード時に「Do you really want to start uninstalling HP Operations Manager i 10.x (required for installing the new OMi version)? [Y,N]?»と確認されたらIISを停止します。

```
net stop W3SVC
```

アンインストールをすでに実行していた場合は、コマンドnet stop W3SVCでIISを停止し、フォルダーC:/HPBSMを手動で削除してから、『OMi 10.61インストールとアップグレードガイド』の説明に従ってOMi 10.61アップグレードを開始します。

タイトル: 10.60スキーマを手動で作成したときにOMi 10.60 IP2からOMi 10.61へのアップグレードが失敗します。(QCCR8D54396)

説明: OMiを10.60 IP2から10.61にアップグレードするとき、次のエラーメッセージが表示されてGWサーバーで構成ウィザードがエラーになります。

```
org.flywaydb.core.api.FlywayException:Found non-empty schema "MANAGEMENT" without metadata table!Use baseline() or set baselineOnMigrate to true to initialize the metadata table.
```

回避策: この問題は、10.60スキーマを手動で作成した場合にのみ発生します。構成ウィザードは、最新のOMiバージョンに更新するときに欠落しているスキーマバージョンエントリを自動的に作成します。この問題を解決するには、ホットフィックスについてHewlett Packard Enterpriseソフトウェアサポートにお問い合わせください。

タイトル: FIPSモードでPreUpgradeToolが動作しません(無効なキーストア形式)。(QCCR8D52957)

説明: OMi 10.60システムを最新のパッチレベルに更新せずにFIPSを構成すると、OMiバージョン10.61への更新時にPreUpgradeToolにエラーが発生します。

回避策: PreUpgradeToolを使用するには、次のようにスクリプトにパッチを適用します。

1. <OMi_Home>/bin/set_fips_env.[bat|sh]に対する呼び出しを追加します。
2. 変数JVM_FIPS_OPTSをJava呼び出しに追加します。

OMi

タイトル:CIタイプのショートカットメニューに[ランブックの起動]がありません。(QCCR8D54000)

説明:CIショートカットメニューを起動したときに[ランブックの起動]メニューエントリが見つかりません。

回避策:[ランブックの起動]メニューエントリを表示するには、ショートカットメニューを起動する特定のCIタイプに対してランブックのマッピングを作成する必要があります。

タイトル:SAML2認証後にユーザーインターフェイスが応答しません。(QCCR8D53550)

説明:OMiでSAML2認証を構成すると、ユーザーインターフェイスが応答なくなり、現在ログイン中のユーザーがログアウトされたり、ログインできなくなったりすることがあります。

ゲートウェイサーバーシステムの<OMi_Home>/log/jboss/login.logに、initStringが空であり、crypto configurationを修正する必要があることを示すログエントリが見つかります。

また、いずれかのゲートウェイサーバーシステムにおける次のコマンドライン呼び出しが空の結果を返します。

```
<OMi_HOME>/opr/support/opr-jmxClient.sh|bat -s localhost:4447 -r -b  
"Topaz:service=LW-SSO Configuration" -m getInitString
```

回避策:この動作を回避するには、構成後、SAML2を構成する前に、少なくとも1回ゲートウェイサーバーシステムを再起動していることを確認してください。

LWSSOトークン作成キー (initString) が削除されている場合に回復するには、いずれかのゲートウェイサーバーで次のコマンドを実行します。

```
<OMi_HOME>/opr/support/opr-jmxClient.sh|bat -s localhost:4447 -r -b  
"Topaz:service=LW-SSO Configuration" -m setInitString -a <valid init string value>
```

有効なinitString値は、32文字の英数字の文字列 (例: 6yddQsbC81c84dCxNIK7yjYMJfZ2Zdca) です。

タイトル:エージェントがDPSで起動しない場合があります。(QCCR8D47298)

説明:OMiをインストールするときに、Operations Agentがデータ処理サーバーで起動しない場合があります。

回避策: OMiのインストール後に `ovc -start` を実行します。

タイトル: SiS統合: ハードニングされていないSiS 11.33はOMiと統合されません。(QCCR11124015)

説明: SiteScope 11.33サーバー (TLS以外のセットアップ) をOMi 10.61 (TLSセットアップ) の接続サーバーとして設定した場合、接続されたサーバーのステータスは `failed` になります。

SiSの `error.log` には、次のような複数のエラーが記録されます。

```
2017-01-13 07:52:34,307 [http-bio-8080-exec-5] (ApacheHttpUtils.java:488) ERROR -
problem while sending data to URL: https://<host>:443/topaz/topaz_api/api_
invoke.asp error:URL: https://<host>:443/topaz/topaz_api/api_invoke.asp,
host:<host>, port:443, UsingProxy: false, isHTTPS(SSL): true,
javax.net.ssl.SSLHandshakeException:Remote host closed connection during handshake,
currentRetry:0
```

回避策: HTTPS以外のSiteScopeはSSLv3を介してHTTPS OMi 10.61との通信を試行しますが、これはOMi 10.61のTLS構成によって許可されていません。そのため、Apacheは接続の試行を停止します。

可能な場合、SiteScopeをHTTPSに切り替えて統合を再試行します。HTTPSに切り替えられない場合は、次の回避策によってApacheでSSLv3を許可します。

1. `<OMi_install_dir>\WebServer\conf\extra\httpd-ssl.conf`を開き、次の構成行を変更します。

```
SSLProtocol all -SSLv3 -TLSv1 -TLSv1.1
```

上記の行を次のように変更します。

```
SSLProtocol all -TLSv1 -TLSv1.1
```

2. Apache Webサーバーを再起動し、接続サーバーを再作成します。
-

OMiパフォーマンスダッシュボード

注: OMiパフォーマンスダッシュボードで推奨される最小画面解像度は1280x1024です。

タイトル: [グラフテーブルのインポート] グラフでは、すべてのインスタンスに同じメトリック値が表示されます。(QCCR1A183471)

説明: 同じメトリックを持つ複数のインスタンスを定義する場合に、そのメトリック値とラベルを使用してグラフが正しく更新されません。

回避策:標準設定では、グラフのラベルは @@[METRIC] として定義されます。クラス別のインスタンスのメトリックでグラフを定義する場合は、同じメトリック名でグラフの凡例が複製されるため、グラフデータが適切に更新されません。クラス別のインスタンスでグラフを作成する場合は、グラフのラベルにインスタンス名を指定して、グラフの凡例を区別することをお勧めします。グラフのラベルを @@[METRIC] - @@INSTANCENAME のように更新することができます。

タイトル:[CIタイプ] ツリーには詳細とは異なる情報が表示され、コンテンツパックには解決されていないコンテンツが表示されます。(QCCR8D43630)

説明:コンテンツマネージャーは見つからないコンテンツに関する警告を表示します。また、[パフォーマンスダッシュボード マッピング] は一部のCIタイプのマッピングを表示しません。

回避策:この問題を解決するには、[OMiゲートウェイサーバー] で次の手順を実行します。

1. ブラウザーでOMiを起動します。
2. 同じブラウザで新しいタブを開き、http://<OMi_Gateway_Server>/OVPM/rest/1.0/admin/clearcache/allを起動します。
3. [キャッシュのクリア] をクリックします。
4. OMiで [管理] > [操作コンソール] > [パフォーマンスダッシュボード マッピング] に移動します。
5. [パフォーマンスダッシュボード マッピング] 画面がエラーまたは警告なしにロードされるかどうかを確認します。

タイトル:インポートしたグラフテンプレートの場合は、CI間で切り替えるとグラフタイトルが更新されません。(QCCR1A184311)

説明:グラフテンプレートをインポートし、グラフのタイトルにシステム名を指定した場合は、CI間で切り替えるとグラフのタイトルが正しく更新されません。

回避策:グラフテンプレートをインポートする場合、グラフのタイトルにシステム名を指定しないでください。

OMiパフォーマンスエンジン

タイトル:クラスターに新しいノードを追加し、再調整操作を実行すると、PEでデータ消失が発生します。(QCCR1A188544)

説明:OMiパフォーマンスエンジンクラスターに新しいノードが追加された場合、ストリーミングされたデータは遅延するか、送信後に失われます。

回避策:この問題を解決するには、再調整操作後にすべてのノードでPEリスナーサービスを再起動します。手順は次のとおりです。

1. sshまたはtelnetを使用して、OMiパフォーマンスエンジンノードにログインします。
2. 次のコマンドを実行します。

```
/opt/0V/bin/ovc -restart pelistener
```

3. クラスタ内のすべてのノードで手順1と手順2を繰り返します。

タイトル:Verticaサービスの再起動後に、パフォーマンスエンジンから構成済みのVerticaにデータをプッシュできません。(QCCR1A189833)

説明:Verticaサービスを再起動すると、OMiパフォーマンスエンジンからVerticaデータベースにメトリックが送信されません。

回避策:この問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. PEリスナーサービスを再起動します。

```
/opt/0V/bin/ovc -restart pelistener
```

注:パフォーマンスエンジンのクラスタデプロイメントにおいて、クラスタの各ノードでこの手順を繰り返します。

2. OMiでパフォーマンスエンジンAPIを呼び出し、キャッシュ構成を更新します。OMiサーバーで次のURLを開きます。

```
http://<OMi gateway host info>/PE/rest/1.0/admin/reconfigure/cache
```

ローカリゼーション

Operations Manager i

HPEは、Operations Manager i 10.61 のローカライズされたソフトウェアを以下の言語で提供します。

- 英語 en
- フランス語 fr
- ドイツ語 de
- 日本語 ja
- 韓国語 ko
- ロシア語 ru
- 簡体中国語 zh_CN
- スペイン語 es

OMiパフォーマンスエンジン

OMiパフォーマンスエンジンの国際化 (I18N) およびローカリゼーション (L18N) は現在承認されていません。

ドキュメントのフィードバックの送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールでドキュメント制作チームまでご連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されている場合、上記のリンクをクリックすると、件名の行に次の情報を含む電子メールウィンドウが開きます。

リリースノート (Operations Manager i 10.61) に関するフィードバック

フィードバックを電子メールに追加し、[送信] をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、ovdoc-asm@hpe.com 宛にお送りください。

ご意見ありがとうございます。